



## 平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンエー  
コード番号 2659 URL <http://san-a.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上地 哲誠

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 諸見 明良

TEL 098-898-2230

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年2月期第3四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	106,497	—	7,364	—	7,532	—	4,395	—
22年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	275.04	—
22年2月期第3四半期	—	—

(注)平成22年2月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成22年2月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率の記載はしていません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	87,569	61,971	68.9	3,773.29
22年2月期	88,018	57,997	64.3	3,539.78

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 60,304百万円 22年2月期 56,572百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	37.00	37.00
23年2月期	—	0.00	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	42.00	42.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 有

平成23年2月期の期末配当金42円00銭には記念配当2円00銭が含まれております。詳細は、本日付で別途公表いたしました「平成23年2月期配当予想の修正(増配及び設立40周年記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,142	2.3	9,185	4.3	9,343	4.2	5,461	9.4	341.74

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年2月期3Q 15,990,827株 22年2月期 15,990,827株

② 期末自己株式数 23年2月期3Q 8,818株 22年2月期 8,744株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年2月期3Q 15,982,026株 22年2月期3Q 15,982,332株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年3月1日～平成22年11月30日）におけるわが国経済は、景気対策効果等により一部に景気の持ち直しの動きが見られたものの、株価低迷や円高傾向などの不安材料が先行き不透明感を払拭できず、雇用情勢、個人消費など依然として厳しい状況で推移いたしました。

小売業界におきましては、個人消費が低迷する中、他業態を巻き込んだ競争の激化や低価格販売による競争により商品単価が下落するなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループの中核である「株式会社サンエー」は経営方針を「お客様の立場で考える」とし、全ての基本はお客様の信頼と支持が原点であることを再認識し、企業理念の浸透、七大基本（クリーンネス、鮮度と味、品揃え、価格、陳列技術、サービス、正しい表示）の徹底、既存店の活性化、効率化を図るとともに商品力の強化、情報システム開発、人事制度改革等を行いました。

店舗展開におきましては、10月に「北谷はまがわ店」（沖縄県中頭郡北谷町）を新規出店いたしました。また、3月に「V21うえばる食品館」（沖縄県那覇市）、4月に「豊見城ウイングシティ」（沖縄県豊見城市）を改装し、その一部に「葉マツモトキヨシ」を出店、4月に「つかざんシティ」（沖縄県島尻郡南風原町）、6月に「与勝シティ」（沖縄県うるま市）のフードコートを改装し、「大阪王将」を出店いたしました。

また、8月に「はません店」（熊本県熊本市）、「ピッツェリアマリノ光の森店」（熊本県菊池郡菊陽町）を退店、9月に「真栄原店」（沖縄県宜野湾市）を閉店いたしました。

連結子会社の株式会社ローソン沖縄は、4店舗新規出店し、1店舗閉店いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における営業収益（売上高及び営業収入）は1,064億97百万円、営業利益は73億64百万円、経常利益は75億32百万円、四半期純利益は43億95百万円となりました。

なお、平成22年2月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較分析は行っておりません（以下「(2) 連結財政状態に関する定性的情報」においても同じ。）。

#### 「小売部門」

小売部門におきましては、家電商品の好調と食料品が堅調に推移した結果、売上高は962億81百万円となりました。

衣料品は、商品単価の下落や天候不順等の影響もあり、売上高は104億26百万円となりました。

住居関連用品は、景気対策によるエコポイント効果により家電商品が好調に推移し、売上高は297億10百万円となりました。

食料品は、低価格販売による競争激化で商品単価が下落しましたが、お客様のニーズに対応した販売促進を実施したことにより、売上高は561億44百万円となりました。

#### 「外食及びホテル部門」

外食及びホテル部門におきましては、お客様の低価格志向が強まる中、QSC（良い品質、良いサービス、清潔な環境）の向上に努めてまいりました。その結果、売上高は46億66百万円となりました。

#### 「CVS（コンビニエンスストア）」

CVS部門におきましては、個人消費の低迷や天候不順が続いたことにより、厳しい環境となりましたが、㈱ローソンの企業理念「私たち“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」の具現化を目指し、CVS事業及びその他の事業を通じたCS（お客様満足）の向上を実現するための施策を実行いたしました。また、沖縄の企業として地域に密着した商品開発・販売促進を実施いたしました。その結果、売上高（直営店）は2億55百万円、営業収入は22億67百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

#### ① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して4億49百万円減少し、875億69百万円となりました。

主な要因は「現金及び預金」が減少したことによるものであります。

#### ② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して44億22百万円減少し、255億97百万円となりました。

主な要因は、前連結会計年度末が金融機関の休業日のため、仕入債務等62億83百万円の支払が当第3四半期連結累計期間に繰越され仕入債務等が減少したことによるものであります。

### ③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して39億73百万円増加し、619億71百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が38億4百万円増加したことによるものであります。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より94億64百万円減少し、102億78百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得た資金は6億85百万円となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益75億19百万円の計上があったものの、前連結会計年度末が金融機関の休業日のため、仕入債務等の支払62億83百万円が当第3四半期連結累計期間に繰越されたことによるものであります。

#### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動に使用した資金は89億95百万円となりました。

主な要因は、定期預金の預入による支出100億円、定期預金の払戻による収入40億円及び有形固定資産の取得による支出30億87百万円であります。

#### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動に使用した資金は11億54百万円となりました。

主な要因は、長期借入金の返済による支出4億54百万円及び配当金の支払額5億89百万円であります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年2月期の連結業績予想については、平成22年4月14日付の平成22年2月期決算短信で発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 簡便な会計処理

##### たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を一部省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

##### 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度にかかる減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,278	19,743
売掛金	2,128	1,225
商品及び製品	9,206	8,203
原材料及び貯蔵品	184	183
その他	2,150	1,803
流動資産合計	29,947	31,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,670	19,792
土地	25,203	22,880
その他(純額)	2,564	2,647
有形固定資産合計	46,438	45,320
無形固定資産		
のれん	1,474	1,597
その他	328	333
無形固定資産合計	1,803	1,931
投資その他の資産	9,379	9,608
固定資産合計	57,621	56,859
資産合計	87,569	88,018
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,395	11,105
1年内返済予定の長期借入金	585	585
未払法人税等	1,386	1,967
賞与引当金	1,634	853
商品券等回収損失引当金	22	24
その他	6,460	7,861
流動負債合計	18,485	22,397
固定負債		
長期借入金	1,948	2,403
退職給付引当金	1,889	1,844
役員退職慰労引当金	431	406
その他	2,842	2,968
固定負債合計	7,112	7,623
負債合計	25,597	30,020

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,723	3,723
資本剰余金	3,686	3,686
利益剰余金	52,822	49,018
自己株式	△24	△24
株主資本合計	60,207	56,403
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	97	169
評価・換算差額等合計	97	169
少数株主持分	1,666	1,424
純資産合計	61,971	57,997
負債純資産合計	87,569	88,018

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
売上高	101,203
売上原価	70,595
売上総利益	30,608
営業収入	5,293
営業総利益	35,902
販売費及び一般管理費	
給料	9,393
賞与引当金繰入額	1,634
退職給付費用	181
役員退職慰労引当金繰入額	25
減価償却費	2,193
のれん償却額	122
その他	14,986
販売費及び一般管理費合計	28,537
営業利益	7,364
営業外収益	
受取利息	50
受取配当金	12
債務勘定整理益	30
その他	144
営業外収益合計	237
営業外費用	
支払利息	40
商品券等回収損失引当金繰入額	7
その他	21
営業外費用合計	69
経常利益	7,532
特別損失	
固定資産除却損	12
特別損失合計	12
税金等調整前四半期純利益	7,519
法人税、住民税及び事業税	3,200
法人税等調整額	△317
法人税等合計	2,882
少数株主利益	241
四半期純利益	4,395

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間  
(自平成22年9月1日  
至平成22年11月30日)

売上高	32,585
売上原価	22,683
売上総利益	9,902
営業収入	1,762
営業総利益	11,664
販売費及び一般管理費	
給料	3,049
賞与引当金繰入額	491
退職給付費用	60
役員退職慰労引当金繰入額	7
減価償却費	747
のれん償却額	40
その他	4,960
販売費及び一般管理費合計	9,357
営業利益	2,307
営業外収益	
受取利息	18
債務勘定整理益	4
その他	31
営業外収益合計	54
営業外費用	
支払利息	12
商品券等回収損失引当金繰入額	1
その他	6
営業外費用合計	20
経常利益	2,340
特別損失	
固定資産除却損	3
特別損失合計	3
税金等調整前四半期純利益	2,336
法人税、住民税及び事業税	1,051
法人税等調整額	△173
法人税等合計	877
少数株主利益	97
四半期純利益	1,361

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3 四半期連結累計期間  
(自 平成22年3月1日  
至 平成22年11月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	7,519
減価償却費	2,193
のれん償却額	122
固定資産除却損	12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	781
受取利息及び受取配当金	△62
支払利息	40
売上債権の増減額 (△は増加)	△903
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,003
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,710
未払金の増減額 (△は減少)	△1,001
預り金の増減額 (△は減少)	△761
その他	177
小計	4,405
法人税等の支払額	△3,720
営業活動によるキャッシュ・フロー	685
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△10,000
定期預金の払戻による収入	4,000
有形固定資産の取得による支出	△3,087
利息及び配当金の受取額	42
その他	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,995
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△454
利息の支払額	△41
リース債務の返済による支出	△68
配当金の支払額	△589
自己株式の取得による支出	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,154
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△9,464
現金及び現金同等物の期首残高	19,743
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,278

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日）

小売部門の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計額又は営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 【参考】

## 四半期個別財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,778	19,692
売掛金	2,128	1,225
商品及び製品	9,189	8,196
原材料及び貯蔵品	184	183
その他	1,708	1,403
流動資産合計	28,988	30,701
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	17,214	18,289
土地	25,203	22,880
その他（純額）	2,972	3,120
有形固定資産合計	45,390	44,289
無形固定資産	327	332
投資その他の資産	10,607	10,792
固定資産合計	56,325	55,414
資産合計	85,314	86,116

	当第3四半期会計計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,395	11,105
1年内返済予定の長期借入金	585	585
未払法人税等	1,385	1,967
賞与引当金	1,617	839
商品券等回収損失引当金	22	24
その他	6,363	7,813
流動負債合計	18,370	22,335
固定負債		
長期借入金	1,948	2,403
退職給付引当金	1,889	1,844
役員退職慰労引当金	426	405
その他	2,515	2,565
固定負債合計	6,779	7,219
負債合計	25,150	29,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,723	3,723
資本剰余金	3,686	3,686
利益剰余金	52,681	49,007
自己株式	△24	△24
株主資本合計	60,066	56,392
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	97	169
評価・換算差額等合計	97	169
純資産合計	60,163	56,561
負債純資産合計	85,314	86,116

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)
売上高	98,246	100,948
売上原価	68,391	70,403
売上総利益	29,854	30,544
営業収入	3,034	3,028
営業総利益	32,889	33,572
販売費及び一般管理費	26,331	26,571
営業利益	6,557	7,001
営業外収益		
受取利息	27	49
受取配当金	14	12
債務勘定整理益	26	30
その他	103	131
営業外収益合計	171	223
営業外費用		
支払利息	49	40
その他	10	28
営業外費用合計	59	68
経常利益	6,669	7,156
特別損失		
固定資産除却損	20	9
減損損失	381	—
特別損失合計	401	9
税引前四半期純利益	6,268	7,146
法人税、住民税及び事業税	3,010	3,198
法人税等調整額	△401	△317
法人税等合計	2,608	2,881
四半期純利益	3,659	4,265

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。